

課題教育

防災教育

・地域と連携した防災訓練を計画・実施したい。
・1年間を見通した防災教育の充実、防災教育カリキュラムの点検と改善を図る。

・登下校を含め、安全安心の取組を強化して推進してほしい。

体験活動の充実

・トライやる・ウィークは、PTAの協力を得て、希望職種を受け入れ事業所を開拓するなど定着してきている。その反面、限られた職種に終了するため、今後新しい受け入れ先をどう開拓するか課題である。

・集団で作業することが地区でも少なくなっており、伝統的な地域行事が伝わらなくなってきた。
・環境学習や自然学校をはじめ、全ての学年で体験的な学習に取り組んでほしい。

人権教育

・自己中心的な生徒が増えてきている。共に学び支え合える「当たり前」のことが当たり前で育てる。「生徒を育てる」教師の人権感覚や人権意識のさらなる向上を図る。

・インターネットの犯罪が問題になっているが、学校でも安全なネット環境についての指導をお願いしたい。

自己評価

学校関係者評価

特色ある教育

オンリーワンスクール

・家庭において食育教育がしっかりとされている。

学校関係者評価

・子どもたちに、地域をもっとよく知る活動を「あさご夢・学び実践事業」として、地域の人の応援を得て進める。

自己評価

教育課程

教育課程全般

・個に応じた学習指導の充実を図るため、少人数授業や複数指導を通して、きめ細かな学習指導ができた。今後は生徒アンケートも活用するなど、授業改善をする。
・全校統一の学習規律の徹底を継続する。「聞く姿勢」「学習の構え」について重点的に行う。
・児童による授業評価を定期的、継続的に行う。
・「道徳参観日」などを通して、児童の道徳性を高め実践力を養いたい。
・電子黒板などICT機器等を活用する工夫をしたことで学力の定着も見られた。今後もさらに校内研修を充実させ、学力の定着を図る。

自己評価

・生徒が落ち着いてきていることから、教育課程が適切に編成され充実した指導へと繋がっていることが推測される。今後は、生徒が自分の意見を整理し、発表できるようプレゼンテーション能力の育成を期待する。
・家庭学習の習慣形成などは家庭と連携して取り組んでいくことが大切である。
・外で運動に親しむ元気な子を育ててほしい。

学校関係者評価

あさご夢っ子悩み相談センター

市内の学校園に通う子どもたちやその保護者を対象に悩み相談窓口を開設しています。
お気軽にお問い合わせください。

■問い合わせ先
市教育委員会学校教育課
☎67712115